県議の所得一覧

当選	会派	給与（万円）	不動産利子等（万円）	その他（万円）	合計（万円）
●金沢市					
紐野義昭⑥	自	1,150			1,150
下沢佳充⑤	自	1,036			1,036
中村　勲④	自	2,109	359	170	2,639
金原　博⑪	新	1,296	442	5	1,742
宇野邦夫⑦	新	1,046		49	1,095
石坂修一⑥	新	1,038		50	1,088
米沢賢司④	新	1,511	64		1,576
盛本芳久③	清	1,036			1,036
谷内律夫②	公	1,036			1,036
田中博人④	政	2,718	19		2,737
●小松市					
福村　章⑨	自	1,036			1,036
藤井義弘⑤	自	1,483	▼69	145	1,559
北村繁盛⑤	新	1,116		138	1,253
山根靖則⑥	清	1,048		10	1,057
●白山市					
山田憲昭⑤	自	1,048	388	▼11	1,425
吉崎吉規⑤	自	1,110		9	1,119
米光正次④	新	1,440	185	41	1,667
●加賀市					
向出　勉⑦	自	1,720	382	215	2,317
宮元　陸④	自	1,159			1,159
若林昭夫⑤	清	1,036			1,036
●かほく市					
木本利夫⑥	自	1,122	49	27	1,198
●野々市市					
吉田　修②	新	1,036			1,036
●河北郡					
米田昭夫③	自	1,036			1,036
●羽咋市・羽咋郡南部					
稲村建男⑧	自	1,738	120	319	2,177
●七尾市					
和田内幸三⑥	自	3,350			3,350
西田昭二②	自	1,036			1,036
●羽咋郡北部					
石田忠夫⑥	自	2,579	24	68	2,671
●鹿島郡					
山田省悟⑤	自	1,189	▼32	65	1,221
●輪島市					
宮下正博③	自	1,637	285		1,922

【表の見方】

◆各選挙区の議員並び順は所属会派の議席数順。同一会派内は当選回数順とした。丸数字は当選回数。会派の略称は自＝自由民主党、新＝新進石川、清＝清風・連帯、公＝公明党、政＝政心会。

全日写連だより

推薦に竹崎さん

県本部 春の撮影会

全日写連県本部の春の撮影会（4月28日、神岡祭り）の入賞・入選作品が決まった。最優秀の推薦は、竹崎哲夫さん（金沢市）の「かわいい巫女達」。巫女さんたちが、祭事の緊張感から解き放たれて石段を駆け下りる様子を、生き生きと捉えた。特選は北本修さんの「祭りの役者」と高野昌陸さんの「獅子舞」。このほか、表彰者は次のみなさん。

推薦　竹崎哲夫さん「かわいい巫女達」

【準特選】杉原美那子、山口高文、富田晃子【入選】柴田朋子、庄田憲一、堅田光弘、川上義雄、川崎明、西野茂、井村稔、東優子、荒木松男、高尾謹史

作品は20～26日、朝日新聞金沢総局4階ホールに展示される。

短信

◆中野重治を読む会　7日14時、金沢市広坂2丁目の石川四高記念文化交流館「中野重治を語る会」代表世話人の小川重明さんが小説「甲乙丙丁」について話す。無料。事前申し込み不要。問い合わせは石川近代文学館（076・262・5464）。

◆救急法基礎講習　8日9～13時、金沢市鞍月東2丁目の日本赤十字社石川県支部（076・239・3880かFAX388 81）。胸骨圧迫、人工呼吸、自動体外式除細動器（AED）の取り扱い方法など。15歳以上が対象。定員35人。受講料1500円。申し込み締め切り6日。

◆多胎児教室　にこにこメイツ　11日13時半～15時半、金沢市泉野町6丁目の泉野福祉健康センター（076・242・1131）。多胎妊婦や多胎児をもつ保護者が対象。妊娠中の健康管理や出産後の育児に関する話や交流会。参加者は母子健康手帳を持参。申し込みは4日締め切り。

ベルマークだより

【6月の運動】

◇設備購入資金を取得

金沢市　薬師谷保育所、石板小、馬場小、森山町小、浅野町小、十一屋小、小坂小、金沢大付属特別支援学校、米泉小、新神田小、西小、粟崎小▽小松市　芦城小▽珠洲市　みさき小▽内灘町　向粟崎小

◇預金で設備品を注文

金沢市　戸板小▽小松市　南部中

【問い合わせ先】電話03・3572・4937

井上 道義の 未来だった 今より

♪彼らの夏

僕は今まで幾人かの政治家と袖を触れ合った。

20代の頃、母の友人とつながりがあった鳩山家の若い兄弟が米国に留学すると言うので羽田飛行場に行った。外国に行く時は誰であっても見送りに行く時代だった。その後20年ほどして邦夫さんに続き、由紀夫さんが政界に出ると言い出したとき、家族は反対していると聞かされていた。結果、「今」がある。

元首相の細川護熙さんが熊本県知事を辞めた頃、草月流の勅使河原宏さんに誘われて福井県の鯖江の焼き物工房で、一緒に轆轤（ろくろ）を回し、粘土をこねさせていただいた。帰りの列車で「今度立候補するので」みたいな話をされた。あの時から焼き物にすっかりはまり、今では新作が高額で飛ぶように売れる陶芸作家の細川さんの「今」がある。

1990年代に京都で音楽監督をしていたが、あの街では「文化」の意味が「過去の積み重ね」のみを意味するようにしか捉えられていないと思え、いら立ちを感じ、市長選に立候補しようかと考えた。新進党だった小池百合子さんにも後押しされてもう少しで表明しようとしたが、家族、知人みなが反対した。結果、僕の「今」がある。

政治家ではないが、ホリエモンこと堀江貴文さんが新幹線の隣に座ったことも。連続コンサートを企画中で、資金が喉（のど）から手が出るほど欲しかったので、もう少しで話しかけるところだった。でも秘書らしい女性と隣り合って座りながらも会話のない空気、かじる煎餅（せんべい）の音、にそれを妨げるものがあった。途中下車した彼らの席には食べ物のゴミが置き去られていた。その後、「今」がある。今年の休暇にも何が起こるか楽しみだ。

（オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督）

◆しばらく夏季休載し、9月に再開の予定です。